

大学 ジャーナル

FREE

vol. 139 7月号

第25巻2号・通巻139号

発行所:くらむぼん出版 〒531-0071 大阪市北区中津1-14-2
TEL06(6372)5372 FAX06(6372)5374

E-mail KYA01311@nifty.com

大学ジャーナル

UNIVERSITY JOURNAL
ONLINE

http://univ-journal.jp



Highlight

- 03 人文情報学って何?!**
古文書をAIが読み解く時代が
クラウドで呼びかけ、アプリで学習。
地震史料をみんなで解読する
歴史学の情報科学
国立歴史民俗博物館 研究部
橋本雄太 先生
- 04 第17回開高健ノンフィクション賞受賞作**
『聖なるズー』 著者インタビュー
濱野 ちひろさん
- 05 Society5.0へ向けて**
京都産業大学 情報理工学部
Society5.0を支えるIT人材の
基礎力を育成
10コースと1年半の卒業研究で専門性を
深め、変化への対応力を身に付ける
- 06 高大接続改革元年と、**
Society5.0へ向けて変わる大学
神戸松蔭女子学院大学
2022年の創立130年へ向けて
- 07 シリーズ 大学が地域の核になる**
京都文教大学の挑戦
産官学民! 京都府南部地域の課題を
淑徳大学の学生とともに解決! 提言!
- 08 大学ジャーナルオンラインから**
- 10 連載 16歳からの大学論**
学問の考え
京都大学准教授 宮野公樹 先生
連載 雑賀恵子の書評
『心にとって時間とは何か』
青山拓史 講談社現代新書 2019年
- 11 デキル! 学部**
立正大学データサイエンス学部
(仮称:2021年4月設置予定認可申請中)
データサイエンスで、
150年の歴史に新しい1ページを
文理融合で「現場で活躍できる
データサイエンティスト」を育成
学部長就任予定者 経済学部教授
北村行伸 先生

大学トップから高校生へのメッセージ

2025年に創立150周年を迎える同志社大学。
その長い歴史の中で、初の女性学長(第34代)となられた植木朝子先生。
新型コロナウイルス感染拡大という大きな混乱の中で
就任された植木先生に、大学とは何か、
また同志社大学やご本人のご専門についてお聞きするとともに、
高校生へのメッセージをいただいた。

良心教育のもとで、 大きな変化に対応できる柔軟性を

大学とは

変化の激流の中で、徳の共同体を基盤
にした知の共同体の構築を目指したい

大学とは知の共同体です。そしてその
ミッションは教育・研究を通して社会に
貢献することです。中でも、AIの進化
に象徴される科学技術の急激な進展に
よって、世界が変化の激流のただ中にあ
ると捉えられるようになった昨今、既存
の枠組が崩れ、価値観が多様化している
状況に対応できる柔軟性を持った人物
の養成は急務と考えられます。

そんな折も折、新型コロナウイルスの
感染拡大によって事態はさらに複雑さ
を増しています。科学技術の進化によ
って、それまで不可能とされていたこと
でも必ず実現できるようになるという期
待感、これまで可能だったことすら
不可能になるという現実の前で勢いを
失っています。変化の中にあることに
変わりはありませんが、私たちの想像を
はるかにこえるような大きなマイナス
の変化に直面している今、より一層、柔
軟性をもった人物が求められているの
です。

外出自粛という個人の自由を制約す
るメッセージは同調圧力を生み、従わ
ない者への激しいパッシングや、医療従
事者、感染者への差別など、これまで
社会が押しこめてきた問題を顕在化さ
せました。科学技術の発達で、オンラ
インによる授業や会議など、この状
況を乗り越える術は持ったものの、一
方で、これら倫理の問題が顕在化して
きたのです。科学技術が発達すれば幸
せな社会を実現

Profile

1990年3月お茶の水女子大学文
教育学部国文学科卒業。1992
年3月同大学大学院修士課程人
文学研究科修了。1995年3月
同大学院博士課程人間文化研
究科単位取得退学。博士(人文
科学)。同大学助手などを経て、
2005年4月同志社大学文学部
国文学科助教授、2007年同教
授。2017年から副学長、教育支
援機構長を務め、2020年4月
から現職。専門は日本中世文学。千
葉県立東葛飾高等学校出身。



植木先生編
『梁塵秘抄』
(角川ソフィア文庫)

できるという、いわば右肩上がりの考
え方だけでは乗り切れない事態を前に、
そもそも科学技術の発展は人類の抱える
課題の多くを克服できるのかという、根
源的な疑問を感じる人々も増えてき
ていると思います。

本学は、知・徳・体の三位一体、全人格
的教育を掲げる大学です。1875年の設
立以来、目指してきたのは徳の共同体を
基盤にした知の共同体の構築です。差別
や偏見など、倫理の問題がクローズア
ップされている今こそ、本学の建学の精
神である「良心教育」の真価が問われる
時だと思っています。

また、本学が掲げる自由主義は、自ら
の良心に恥じない行動がとれることを
前提としていますが、外出自粛要請な
ど、自由の制限についても議論が高まる
中、法律の観点からだけでなく、社会的
な責任の観点からも、本当の自由とは
何かを考えるいい機会でもあるでしょう。
創立者 新島襄の唱える「良心を手腕に
運用する人物の育成」を改めて心に刻
み、教育・研究、社会貢献に取り組みたい
と思っています。

2025年へ向けて、より一層、 ダイバーシティの推進を図りたい

本学にはまた、「一人一人大切ナリ」という
新島の精神が脈々と受け継がれています。
人を個人として大事にするというこの考
え方は、多様性を認め、尊重しようとい
う本学の伝統、文化の根底をなすもの
です。

このような伝統・文化を継承、発展さ
せるために、「同志社大学ビジョン2025」
【次ページ
コラム参照】においてもダイバーシ
ティのさらなる推進を掲げ、多様な人
物が様々な活動を通して共生できる
キャンパスの実現を目指しています。
従来から障がい学生支援における
本学の取組は先駆的と評価され、他
大学のモデルともされてきました。
これに加えて、グローバル化推進、
セクシャルマイノリティへの支援、
男女共同参画推進も視野に入れ、
来春にはそれらの活動を統括する「
ダイバーシティ推進室」の開設も予
定しています。

日本におけるダイバーシティ政策は、
2017年3月に経済産業省が作成した
「ダイバーシティ2.0行動ガイドライン」
に見られるように、

同志社大学学長 植木 朝子 先生



企画・広告のお問い合わせは



ユニバースケープ(株)

info@universcape.co.jp まで

経済の持続的成長にとって不可欠という視点からスタートしました。多様な人材の活躍が、少子高齢化の中で、グローバル化し多様化する市場のニーズやリスクへの対応力を高め、ダイバーシティ経営やイノベーション創出につながるといわれています。こうした経済的効果から語られる多様性とは、自己の利益や結果を求める利己的なものですが、本当の多様性の尊重とは、誰も否定せず、異なる他者との共存を受け入れる、誰一人傷つけられず否定されない、多様であることが受容されるという利他的なものです。本学はこのようなダイバーシティの視点を持って、全人格教育をさらに充実させ、多様性と寛容に満ちた社会の構築に貢献できる人物を輩出したいと思っています。

ご専門は

中世歌謡の豊かさに触れて

『梁塵秘抄』などの中世の歌謡(旋律にのせて歌う歌)を中心に研究しています。高校時代から国文学科志望ではありましたが、大学入学後に、中世歌謡の豊かさに触れ、研究対象に選びました。

近代になって作られた「文学史」においては、突出した才能を持つ個人の作品が高く評価される傾向にあり、中学、高校の教科書もまたしかりです。しかし集団によって支えられた文芸の世界も実に豊かな広がりを持っています。『梁塵秘抄』は平安時代末期、後白河法皇によって編纂された歌謡集で、文字を書き記すことのできなかった、相対的に低い階層の人々の喜怒哀楽を伝える歌も多数収録されており、現代の私たちの心にも強く訴えかけるものがあります。

国文学とAI

ところで国文学は、現在のデジタル化の進む社会からは最も遠い存在と考えられがちですが、AIによるくずし字の解読など、デジタル技術を駆使した文理融合研究も始まっています。専門家を除くとくずし字を正確に判読できる人は稀ですから、翻刻(活字化)されていない古典籍、古文書には、今も読まれない、いわば眠った状態に置かれているものが多い。それらが今、AIを使った新しい手法によって少しずつ解読されようとしているのです。これが進めば、他分野の研究者からのアプローチも増え、そこから、国文学や日本史における新たな発見が生まれるのではないかと期待されています。

また、現在は文学作品の本文のデータベース化が進み、語彙検索が容易になっています。たとえば和歌を集大成した『国歌大観』がCD-ROM化されたことで、ある歌謡についての用例検索が、一瞬でできるようになりました。もちろん気をつけなければならないこともあります。データ化されたことで用例が数値として見られがち

になり、本来、誰が詠んだ和歌かによってその一例の重みに違いがあるところを、単純に同じ一例としてフラットに扱われてしまうことがあるのです。

標準化や検索はデジタルの得意とするところですが、それが結論を真実から遠ざけることもあります。新しい手法は大いに活用すべきですが、オールドボックスな系統立った学問を学んだ上で、総合的に判断することが求められると思っています。

恩師の一言

研究に関して忘れられない言葉があります。学生時代の恩師の言葉で、「研究を始めたばかりの君たちは、重箱の隅をつつくしかない。井戸掘りにたとえれば、まずは1つの点から地面を掘っていくしかない。地面を掘り進めると、やがてじわりと水が湧いてくる。そこで大切なのが、その水がいかなる流れを作り、どのような川へ合流し、最後にどんな海に注ぎ込んでいくのかを考えることだ。常にその広い海のことを考えながら、重箱の隅をつつきなさい」というものです。

学問研究の細分化が問題とされるようになって久しいですが、この恩師の言葉は、大きな見通しを持った上でならば、ごく小さな課題でも取り組む意義はあるのだということ、そして、簡単に諦めることなく研究し続けていくことが重要なのだということをあらためて示してくれています。

高校生へのメッセージ

文系の学問の存在意義とは？

以前、大学における文系の学問の存在意義が取り沙汰され、一時は文学部不要論なども唱えられました。文学を研究する者としては、疑問に思う議論も多かったと記憶していますが、この度の新型コロナウイルス感染拡大の事態に限らず、どれだけ科学技術が発達しても、哲学や倫理など文系の学問がカバーする問題はなくなりません。歴史を振り返らなければならない局面も必ず来るでしょう。人が生きるとはどういうことかを突き詰めて考える時には、哲学や倫理学、文学や歴史学などの学問が不可欠となります。東日本大震災の後には、『方丈記』がよく読まれたといえます。天災、人災の経験から人の世のはかなさ、冥利への執着のむなしさを実感した鴨長明が、一丈四方の小庵をむすんで隠棲し書き残したものが、自然の驚異の前で人間の無力さを感じた多くの人の心に響き、その生き方に示唆を与えたのではないのでしょうか。

もっと言葉の力を

近年、AIの進化に注目が集まる中、子どもたちの読解力の低下を指摘する声が上がってきています。数学でも、文章題が解けないのは、文章を数式に置き換える力が弱いということで、結局、読解力、ひいては言葉の力の問題ということになります。また

「同志社大学ビジョン2025」は、同志社創立150周年に向けて、創立者 新島襄が同志社英学校を創立した原点に立ち返りながら、これからの同志社大学が進むべき航路を社会と共有するために示した将来像。以下は、そのもとでの取り組み事例の一部。

●同志社大学EUキャンパス

2017年度にドイツのチュービンゲン大学内に開設。すでに昨年からは、10名の学生が、「EUキャンパスプログラム」に参加。語学研修のドイツ語だけでなく、チュービンゲン大学の学生との共修授業により、EUについても見識を深めた。今後は、春学期に「ドイツ語・異文化理解」、秋学期に「ヨーロッパスタディーズ」の2つの「EUキャンパスプログラム」の開講が予定されている。国際シンポジウムの開催や、教員交換など、研究交流も行われている。

●社会連携

①ダイキン工業株式会社との包括協定

これまでの産学連携は研究分野が中心であったが、本協定においては、両者の連携が研究分野と教育分野の両輪で進むことが特徴。研究分野では、長期的に取り組むムーンショット型と短期的に成果が出る社会実装型といったように多様な形で研究を進めていく。教育分野では、同志社大学の大学院生がダイキンの研究成果を学んだり、ダイキンの海外拠点でグローバルインターンシップを行ったりする一方で、ダイキンの社員が同志社大学でリカレント教育を受けるといったように、双方で教育活動を行う。

②株式会社大和総研とのデータサイエンス分野での包括協定

2019年6月に締結。個人対個人の共同研究を組織対組織の協働研究に発展。「Community5.0 AIデータサイエンス副専攻プログラム」を2020年度に開設し、大学院教育でも協働。

③文化庁地域文化創生本部との包括協定

京都という地の利を生かし、文化・芸術面での社会連携を進めていく。2017年に文化庁が初めて公募した大学・研究機関等との共同研究事業に、創造経済研究センターの『文化芸術創造都市に係る評価と今後の在り方に関する研究』が第一号として採択された。2017年12月に締結された包括協定は2020年3月にいったん期限を迎えたが、再度の協定締結に向けて、現在、調整を進めている。創造経済研究センターの取組だけでなく、新たに、文化財の保存と活用を研究テーマに文化庁との連携も進めていく。

英語も大事ですが、話すべき中身がなければ十分に活用することもできません。内容を構成するのは日本語、国語だからです。

今の若い人は、Twitterなどで短い文章での発信にはなれていても、長い文章を読んだり、書いたりする経験が少ないようです。仲間内だけでしか通用しない感覚的なコミュニケーションが支配的で、論理性に欠ける表現も目に付きます。高校の高学年、大学生ともなれば、テストやレポートのためだけでなく、仲間内でない他者を納得させるような力のある言葉を使えるようにしたいですから、まとまった文章を読み、また自分でも書く訓練は不可欠だと思います。言葉は文化や歴史を体現するものですから、言葉を理解し、しっかり使いこなしていくことで、それらについての理解も深まります。

人には生きていく上で、長い時間をかけて考えないといけないことも多々あります。特に社会に出ると、与えられた課題を解くのではなく、課題自体を自分で設定し、他者との関わりの中で解決していかなければならないような機会にも多く出会います。そのような時には、少し手前味噌になりますが、文学作品をじっくり読んだ経験がいきます。今回の高等学校の学習指導要領の改訂では、「論理国語」と「文学国語」が分けられましたが、文学作品にも論理はあります。私は文学作品を読むことで、論理性は身につくと考えています。また他者に深く共感し豊かに想像する力も養うことができるでしょう。

できるだけ幅広く学んでほしい

近年、知識の詰め込みについては否定的な意見が多いですが、そもそも知識がな

いと独創性も生まれません。主体性を持って自分の意見を主張できることはもちろん大事ですが、自分の考えを相対化するには、過去の知の積み重ねを把握しておくことが必要です。

最近では、卒業論文を指導していて、「私はこう思います」と根拠も示さず結論付ける学生が増えてきていることが気になります。感覚が通じる者同士の間では、きちんと言葉で説明しなくても済むことが多いかもしれませんが、しかし学問の世界では、なぜそう言えるのか、客観的な根拠を示すことがまず必要ですから、先行研究に当たり、知識として蓄えておく必要があります。『源氏物語』研究などは鎌倉時代から始まっていますから、それらについてはひたすら知識として吸収するしかありません。

こうした作業は決して無駄にはなりません。それは異なる領域の勉強についても言えることです。たとえば、幾何の問題で、いかに補助線を引くかを考えた経験は、数学以外の分野でも役に立ちます。ある一本の補助線を引くことで局面が劇的に変わり、問題の解決につながることは、文学作品の読解においてもしばしばあるからです。自分には関係のない分野だから勉強するのは無駄だと決めつけずに、幅広い知識を吸収してほしいと思います。

近年、大学では文理融合が進んでいますが、それが進めば進むほど、これまで以上に他分野の知識が必要になります。受験には必要ないからと、早い時期から学ぶ範囲を狭めるべきではないでしょう。高校時代、幅広い学びに自ら進んで取り組むことが、大学での豊かな学びにつながっていくのです。

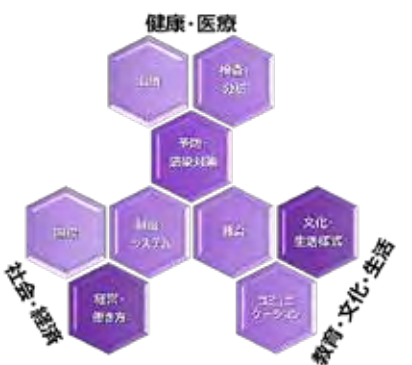
All Doshisha Research Model



ポストコロナの社会にむけて、同志社77プロジェクトを始動

「All Doshisha Research Model:新型コロナウイルス感染症に関する緊急研究課題」は、100年に一度と言われるパンデミックをもたらした新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の収束と、パンデミック後に訪れるであろう、大きな変革の時代への対応力をあらゆる分野から検討するプロジェクト。「ポストコロナの新しい社会はどうあるべきか」「自由と平等は維持できるのか」「必要とされ

る技術の開発は可能であろうか」など、総合大学の強みを生かし、様々な専門分野から、「ポストコロナ」を多角的に捉え、集約し、価値ある方向性を含んだ研究成果を、広く社会へ発信しようというもの。学内に研究課題を募り、「健康・医療」「社会・経済」「教育・文化・生活」の3領域9分野(右図)に分類、77の応募課題を認定した。研究成果はシンポジウム等による国内外への発信を計画する。



人文情報学って何?! 古文書をAIが読み解く時代が

クラウドで呼びかけ、アプリで学習。

地震史料をみんなと解読する

歴史学の情報科学

最先端の情報科学を使った歴史学研究が盛んです。国立歴史民俗博物館の橋本先生は、クラウドコンピューティングを利用し市民参加を呼びかけ、地震の古文書の解読に取り組んでいます。しかもそれと連携し、古い史料を読めない人のための古文書解読の教育サービスを展開。地震研究に役立ち、人材も育てる一石二鳥の画期的な方法について語りました。

市民参加の「みんなと翻刻」プロジェクト

地震予測の研究は今や日本の必須の課題になっています。将来起きる地震に備えるためには、過去発生した地震を研究する必要があります。しかし、近代的観測データは、1880年代以降しか存在しません。私は地震学研究者との共同で、江戸時代以前に起こった古い地震の記録の解読に取り組んでいます。

この取り組みに当たって難関は、膨大な数の古文書を解読する「翻刻」と呼ばれる作業です。翻刻することで、古文書は読みやすくなり、データとして活用しやすくなります。しかし翻刻には非常に長い時間と手間がかかります。翻刻をコンピュータが自動的に学習しながら遂行してくれる機械学習という方法の研究も進められていますが、まだ有効な実用化に至っていません。

そこで私は、いわゆる「クラウドソーシング」を駆使して地震史料を翻刻するプロジェクトを立ち上げました。オンラインで参加するたくさんの市民ボランティアを募り、協力いただいて、翻刻を一挙に成し遂げようというアプローチです。このプロジェクトは2017年に公開され、「みんなと翻刻」と呼ばれています。



みんなと翻刻の史料翻刻画面を開くと、プロジェクトに参加する市民は、画面右側に表示された地震の古文書の画像を見ながら、左側のエディター画面に翻刻文を入力していきます。

古文書の読める市民を育てる、くずし字学習支援アプリ開発

ただし問題も残されています。古文書に書かれた「くずし字」を解読できる人は、現代の日本人口の1%にも満たないの

です。そこで翻刻できる市民の増加をもくろみ、古文書解読の学習サービスと連携しました。例えば一例として、私が少し以前にスマホ用に開発した「くずし字学習支援アプリ」があります。このアプリはこれまでに12万回ダウンロードされています。このアプリで古文書解読のスキルを習得するとともに、翻刻にチャレンジする人を増やすという一石二鳥を実現しました。



もう1つの試みに、翻刻文の相互添削サービスがあります。「みんなと翻刻」のシステム上で誰かが翻刻すると、その内容が全参加者共通のタイムラインに投稿されます。その翻刻内容に間違いがあったり、見落とししていることがあったりすれば、誰でも修正を加えられるようにしたのです。



みんなと翻刻のシステム公開から2年が経過した時点で、参加登録者数は4600人、入力された文字数は578万文字に達しています。その結果、東大地震研究所の持つ地震関係の災害史料500点のうち97%、485点の翻刻が完成しました。非常に大きな成果と言えます。しかしまだまだ日本には、数多くの翻刻されていない災害史料が残されています。今後も情報技術を駆使して、さらなる規模の市民と研究者の協働作業の実現に取り組んでいきたいと思っています。



国立歴史民俗博物館 研究部
橋本 雄太 先生

Profile

2017年4月から国立歴史民俗博物館 研究部テニュアトラック助教。2015年7月から国立国会図書館委嘱研究員も務める。2008年3月京都大学文学部卒、2010年同大学院文学研究科情報・史料学専攻修士課程修了、2010年から2013年まで株式会社内田洋行教育総合研究所、2017年京都大学大学院文学研究科情報・史料学専攻博士後期課程中退、2015年8月-2017年1月大阪大学特任研究員。東京都立富士高等学校出身。

学問の動き、捉えないと乗り遅れる!!
新時代の大学選びサイト



河合塾が運営中の中高生向けサイト



どんどん変わる社会、本や漫画、映画などで方向性と新学問をキャッチ! 研究している大学がわかる。1800冊の本、265の学問、5000の学科から
◇聴覚障害者との恋を描いたアニメ・漫画『聲の形』や映画『レインツリーの国』(玉森裕太と西内まりや主演)なら→特別支援教育→筑波大、東京学芸大、筑波技術大、金沢大、宮城教育大など
◇カード破産を扱った宮部みゆきさんのミステリー『火車』なら→民法法学→東北学院大、明海大、明治大、立教大など

偏差値だけではわからない“学問さがしの旅へ”!
<https://miraibook.jp>



AIだけでない、広がるゾ! 情報科学

20分野49テーマ!
計400以上の大学・学部・学科!!
のどこに行けばいいかも紹介

『みらいぶっく』の姉妹サイト



「歴史学の情報科学」はココで学べる!

人文情報学<歴史情報学>の学べる大学より 一部抜粋<北から順>

公立はこだて未来大	システム情報科学部複雑系知能学科	小説の計量的研究
筑波大	情報学群知識情報・図書館学類(知識情報システム専攻)	知識発掘・アーカイブ学、読み聞かせの影響分析、絵本推薦システム
桜美林大	リベラルアーツ学群	古代の木簡文字解読アプリ開発
同志社大	文化情報学部文化情報学科	絵画の統計的情報処理
立命館大	文学部人文学科日本文学研究学域	浮世絵などの絵画の分析、歴史GIS
龍谷大	先端理工学部知能情報メディア課程	3DCGでの踊り記録、博物館展示のバーチャル表現
関西大	総合情報学部総合情報学科	文化遺産のデジタル記録

※詳細は「みらいぶっく」のQRコードの該当ページへ
※実際の進路選択等に際しては、各大学のHP等で改めてご確認ください。

<https://www.milive-plus.net/it-ranking/>



「みんなと翻刻」が2019年にリニューアル

《仲間と、AIと協力して、古文書解読に参加しよう! 歴史資料を「みんなと」読み解く》をキャッチフレーズに、オンライン上で集まったボランティアの人々の協力を得て、史料の解読を推し進める取組。

2017年に京都大学古地震研究会によって、過去の地震に関する歴史資料を翻刻するプロジェクトとして立ち上げられたが、2019年7月に、国立歴史民俗博物館、東京大学地震研究所、京都大学古地震研究会を中心にリニューアルされた。専門家ではなくても古文書の解読ができる機能を強化、AIによる自動くずし字認識のプログラムとしては、一文字単位でくずし字の自動認識が可能な2種類のAIプログラムを搭載。凸版印刷株式会社が開発したAIと、人文学オープンデータ共同利用センター(CODH)が開発したAIを利用することがで



<https://honkoku.org/>

きる。またコミュニティ機能を用いて難解な文章を参加者同士で相談して解読に取り組みたり、縦書き・ルビ・踊り字など、特殊な日本語表記に対応した、Webブラウザ上で動作するエディターを提供し、すべての作業が、オンライン上で実施できる。

(中高生向け・本と学問情報サイト「みらいぶっく」「みらいぶっくプラス」(河合塾運営)より情報処理学会と連携した「IPSJ-ONE」(人文情報学)から。サイトでは先生からのBook guideも)

第17回 開高健ノンフィクション賞受賞作

『聖なるズー』

著者インタビュー

濱野 ちひろさん

Profile

1996年ノートルダム清心女子中・高等学校卒業。2000年早稲田大学第一文学部卒業後、ライターとしての活動を経て、2016年に京都大学大学院人間・環境学研究所修士課程に入学。現在、同研究科博士課程に在籍し、文化人類学におけるセクシュアリティ研究に取り組む。2019年、『聖なるズー』で第17回開高健ノンフィクション賞を受賞。2020年、同作で第51回大宅壮一ノンフィクション賞および第42回講談社本田靖春ノンフィクション賞最終候補、2020年ノンフィクション本大賞ノミネート。

撮影 小田駿一

性と愛をめぐる冒険
「ズーフィリア」の世界から
学んだこと

動物を愛し、ときには動物とセックスをする人々と、そのパートナーである動物たちを調査した『聖なるズー』という本が昨年、開高健ノンフィクション賞を受賞しました。著者は、京都大学大学院で文化人類学を研究している濱野ちひろさん。『聖なるズー』が描き出す世界は一見するとショッキングですが、メッセージは「きっと若い人に伝わると思う」と濱野さんは語ります。これまではほとんど知られてこなかった性愛のあり方の研究を通して、見えてくるものは何でしょうか。高校生に伝えたい思いを話してもらいました。

私と社会がマッチしない、
という違和感

『聖なるズー』は、大学院での研究として行った、「ズーフィリア(動物性愛)」についてのドイツでの調査がもとになっています。「ズー」とは犬や馬といった動物をパートナーとし、その動物とともに生き、ときにはセックスをする人々が自分たちを称するときに使う言葉です。ドイツには「ZETA/ゼータ」というズーの団体があり、私はそのメンバーたちと一緒に生活しながら話を聞くことで、ズーフィリアという性愛のあり方を理解しようとしたのです。

男の子は女の子を好きじゃなくちゃいけない、女の子は男の子を好きじゃなくちゃいけない、という考え方のことを異性愛規範と言いま

すが、ズーたちはそれとは異なる性的指向を持つ人々です。だからズーたちは、自分はパートナーを愛しているだけなのにそれが社会の規範とマッチしない、という違和感をずっと抱えています。たとえばミハエルという男性は、幼い頃に自分の性的指向を自覚して以来、ずっと自分を責め続け、社会の異性愛規範を自分にすりこもうとしてきたということを私に話してくれました。私は異性愛者ですが、自分もこれまで男性との関係でたくさん苦勞してきた分、ズーたちの感じている違和感には十分に共感できました。

それはきっと、高校生の皆さんも同じではないかと思います。『聖なるズー』の出版後、若い読者の方からたくさんの感想をいただきました。本に書いたことを、さまざまな人が自分自身の問題として受け止めてくれたことに手ごたえを感じています。高校時代は多くの人にとって、本気の恋愛をしたり、本気で友人と関わったりする最初の時期ではないでしょうか。そこでは皆皆さんの問題を抱えていて、でも普段はそれを閉じこめて、解決したふりをしている。でも、『聖なるズー』を読むとそれが一気に吹き出してくる。そんな感想を聞いて、この本の内容が若い方々に伝わっていることを実感します。

社会にはたくさんの規範やルールがありますが、人間はもっと自由です。だから一人一人の生き方が社会の規範とマッチしないことだってある。若い人はきっとそれを知っているし、知っていた方がいいとも思います。そうでなければ、社会の規範に沿って強引に自分を

説明することで、自分を傷つけることになるからです。それは自分を守るための戦いから逃げることです。自分と社会の間にあるズレに気がつけば、自分が少しでも生きやすくなるように、千差万別の方法で戦うことができます。社会運動に参加したっていいし、大学で研究をしたっていい。

だから、若い人にはたくさんの価値観にできるだけ触れてほしいと思います。浴びてほしい、と言った方が近いかもしれません。現代美術館でたくさんの変った作品を見てまわるようなスピード感で、『聖なるズー』が、それを体験してもらえ一冊になることができたらうれしいです。

パーソナリティと対等性——
ともに生きる人との関係の中で

ズーたちの動物への向き合い方は、私たちがともに生きる人、自分の愛する人との関係の中で何を考えるべきなのか、ということを知るための手がかりにもなると思います。私がズーたちから学んだのは、相手のパーソナリティを認めること、相手と対等であろうとすることです。

「パーソナリティ」は日本語には訳しにくい言葉で、性格を意味する「キャラクター」とは少し異なります。ある人や動物のキャラクターは誰から見てもそこまで変わらないのですが、パーソナリティは自分と相手の関係性の中から生じてくるもの、時間をかけてともに過ごす中で互いに引き出され、見出されていくものです。それによってはじめて相手は自分にとって特別な誰かになります。ズーたちはパートナーである動物のパーソナリティを愛そうとしているし、パートナーの動物もまたその人のパーソナリティを把握しているように私には感じられました。

同時にズーたちは、互いにパーソナリティを認め合う動物と、対等な関係を築こうとしています。この点はセックスの問題とも関わっていて、ズーたちはパートナーの動物に自分とのセックスを教えようとは決してしない一方、動物の性欲を無視することはありません。相手と対等であろうとするからこそ、ズーたちは性的な側面も含めた動物の欲求をまるごと尊重し、それに応えようとしているのだと思います。

パーソナリティと対等性を重んじることは、人間同士の関係でも重要です。むしろ人間と

人間の間でそうすることの方がよっぽど難しい。たとえば上司と部下であったり、先生と生徒であったり、先輩と後輩であったりと、人間関係はたくさんの役割に覆い尽くされていますから。自分にまわりつくそうした属性を取っ払って、自分も相手も一人の個人としてパーソナリティを認め合い、対等に愛し合うことはとても難しいんです。

私自身が感じることを、
私自身を通して伝える——
『聖なるズー』ができるまで

私は30代後半で大学院に入学しました。大学で得たものは計り知れません。知識や経験、そして何より、一つのことについてじっくりと考える時間を手に入れることができました。

専攻分野として文化人類学を選んだのは、フィールドワークというリサーチの手法に惹かれたからです。それは、一人の調査者が調査する世界の中に入っていき、自分の見た世界を描き出すというもの。特に「一人の」という部分がたまりません。誰もが観察して読み取れることではなく、私自身が感じることを研究の主軸としていい、そんな文化人類学という学問のユニークさが私はとても好きです。それはまた、一人で世界に対して問題を提起できるということでもあります。

『聖なるズー』はそのようなフィールドワークを通してわかったことを、ノンフィクションの形で書いたものです。専門的な論文ではなくノンフィクションという発表の仕方を選んだのは、ズーたちの抱える問題を多くの人と共有したかったから。ズーたちを単に変った人として外部の視点から描くのではなく、私自身を媒介としてたくさんの人にズーフィリアの世界を伝えるために、『聖なるズー』では私という個人の抱える問題も題材として取り上げました。

最後に若い人に伝えたいのは、一人旅をしようということ。一人で世界に飛びこんでいくことは、フィールドワークそのものです。最初は一泊二日でもいいですね。ちょっとずつ規模を大きくして、大学生になったら一人で海外にも行ってみたいですね。お金は交通費さえあれば多分大丈夫。ホテルではなく民家に泊まって、知らない人と一緒に暮らし遊んだりしましょう。私もこれまでそんな旅を通して何回も救われたし、教えられてきました。皆さんもきっと自分の世界が広がると思います。

新キャンパスに誕生した、650人規模の生活空間
GLOBAL COMMONS 結-YUI-

2018年4月に開学した「御殿山キャンパス・グローバルタウン」では、協定を結ぶ世界55カ国・地域393大学から集う外国人留学生と関西外大の学生が「学・食・住」を共にしながら、国際感覚やコミュニケーション能力を磨くことができます。 ※外国人留学生の数(2019年度実績)約750人

関西外国語大学

WEB OPEN CAMPUS

7/25(土)・26(日)・8/2(日)

●WEB個別相談(ZOOM使用)

入試全般、学部・学科、留学、学生生活などに関する相談に、本学スタッフや在学生が応じます。

●動画配信

授業紹介、キャンパスツアー など

詳細はホームページよりご確認ください。

大 学 院 外国語学研究所
(博士前期課程・博士後期課程)
英語キャリア学部 英語キャリア学科
英語キャリア学科 小学校教員コース
外 国 語 学 部 英米語学科
スペイン語学科
英語国際学部 英語国際学科
短期大学部 英米語学科
留 学 生 別 科

【中宮キャンパス】
〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1
TEL.072-805-2801(代表)

【御殿山キャンパス・グローバルタウン】
〒573-1008 大阪府枚方市御殿山南町6-1
TEL.072-805-2701(代表)

【入試広報企画部】TEL.072-805-2850(直通)
E-mail nyushi@kansai.ac.jp
URL http://www.kansai.ac.jp

Society5.0へ向けて

京都産業大学 情報理工学部

1960年代後半には世界最速の大型コンピュータを導入、その先進性を強くアピールした京都産業大学。情報系学部のコンピュータ理工学部も2008年に設置、情報分野で関西私学をリードしてきた。2018年には、そのコンピュータ理工学部を情報理工学部に発展的に改組。3学科を発展的に解消し、1学科に10の履修コース^{*}を設定。年々、情報系人気が高まる中、同学部のSociety5.0へ向けてのIT人材育成について紹介する。

Society5.0を支えるIT人材の基礎力を育成

10コースと1年半の卒業研究で専門性を深め、変化への対応力を身に付ける

新設が続く情報系学部と Society5.0

ここ数年、国公立大学を問わず、情報系学部学科の新設が相次いでいます。情報系分野に対する受験生の人気が高いこともありますが、政府が推進する「Society5.0」社会の実現に向けた動きも影響していると言えるでしょう。「Society5.0」とは、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会のことで、超スマート社会とも言われています。遠い未来のことのように感じるかも知れませんが、「Society5.0」実現のための技術は確実に進歩し、私たちの日常にもすでに様々な形で恩恵を受けています。

AI、データサイエンスが全て

最近、テレビや新聞などでAI(人工知能)、IoT、ビッグデータ、データサイエンス、ブロックチェーンなどの言葉を聞いたり目にしたりする機会が増えています。また、新聞の経済面では、デジタルトランスフォーメーション(デジタル革新)などの用語も日常的に使われています。こうした状況を受けて、新設される学部学科名称に「人工知能」や「データサイエンス」を冠する大学も見られます。このようなトレンドキーワードに受験生の目は奪われがちですが、これらは個別の技術や応用分野にすぎません。そしてこれらには時々の流行がありますから、次に新しい技術が生まれると使われなくなる可能性もあるのです。

情報社会の基盤を支える情報工学

現在、注目されているAI、データサイエンスなどの個別の技術や応用分野の基盤となっているのが情報工学です。情報工学は、コンピュー

タやネットワークに代表される情報関連技術を学ぶ学問分野で、かつては、電子工学、通信工学などの学科名称が多く見られました。教育研究の対象分野が広がった現在では、電気電子工学、数理学、脳科学(神経科学)、デザイン学など、幅広く学べるカリキュラムを備えた学部も見られるようになりました。

京都産業大学が2018年に設置した情報理工学部は、まさにこうした情報工学を分野横断的に学ぶことのできる学部で、多彩なコースで編成されたカリキュラムに特徴があります。

多彩なコースには脳科学など 注目の分野も

設定されたコースは10で、1年次の秋学期から希望のコースが選択できます。ネットワークシステムやコンピュータ基盤設計といった情報工学の基本となる分野から、データサイエンス、情報セキュリティ、脳科学など、社会の最新のニーズに応えた分野まで幅広くカバーされていて、選択したコースの要件を1つ以上満たすことが卒業要件になっています。また、コースは1つだけではなく、複数を選択して学ぶことも可能で、最大3つのコースを同時に選択することができます。しかも、コースとして必修とされる科目の一部はコース間で重複するなど、無理なく学習できるような工夫もなされています。もちろん、1つのコースしか選ばず、専門性を深く追究することもできます。

複数の専門分野を学ぶことが大切

ではなぜ、このように複数のコースを並行して学ぶ仕組みがとられているのか。それは情報関連の分野は進歩が早いので、新しい技術や概念が次から次へと出現してくることと関係しています。ブログや口コミ等のソーシャルメディア分析などに取り組む中島伸介教授は、「現在のトレン

ドはディープラーニング等に代表されるAI技術や、ビッグデータ解析等で注目されているデータサイエンスなどですが、単にこれらの技術の断片を学べば良いわけではありません。これらを利用して使えるようになることは大切ですが、世の中は常に変化していて、新しい技術は次々と生まれてきます。そこで必要とされるのは総合的な力をつけ、新しく生まれる技術にも対応できる視野の広さと柔軟性を持つこと。そのために、他コースや境界分野を平行して学ぶことのできる柔軟なカリキュラムが必要なのです」と語ります。進歩し続けるこれからのIT社会を支え、将来にわたって活躍し続けることができるIT人材とは、基礎をしっかりと身に付けたいうえで、応用力を磨き、新しい分野に挑戦することができるバランス感覚のある人材だと言えるでしょう。

技術を高める実験・演習科目を重視

情報理工学部では、基礎をしっかりと身に付けるために、数学やプログラミング、コンピュータの基礎などの科目を1年次から必修としています。特にプログラミングについては、演習科目を通じて、基本的なコンピュータ・プログラムを作成するとともに、応用的なプログラム作成のための基礎となる知識とスキルを身に付けます。さらに2年次には、実験科目などを通して、ハードウェアやソフトウェア、ネットワークの原理や、人間とコンピュータとのかかわり、情報技術と個人情報保護の課題などを理解します。実験・演習科目で実際の機器に触れ、ハードウェアやソフトウェアを作成することで、講義で学んだ知識や概念を体験的に学ぶのです。

教員1人に学生6人の、きめ細かな教育

3年次前半には、特定のテーマに沿った実

※10コース

- ネットワークシステム ● 情報セキュリティ
- データサイエンス ● ロボットインタラクション
- コンピュータ基盤設計 ● 組み込みシステム
- デジタルファブリケーション ● 脳科学
- メディア処理技術 ● 情報システム

験・開発プロジェクトによってさらにスキルを高めます。そして後半からは1年半の卒業研究に取り組み、さらに知識を深めるとともに、卒業後、即戦力として社会で活躍できるよう、実践的な研究・開発スキルを磨きます。

これをバックアップするのが、教員1人に学生6人という、私立大学としては恵まれた少人数教育と手厚い研究指導です。文部科学省によれば、教員1人に対する学生数の平均は、国公立大学で5~6人、私立大を含めた全大学平均では15人前後。きめ細かな教育が端的に表れた一つの事例と言えるでしょう。

大学院の早期卒業制度も

卒業研究で取り組んだ課題などをさらに深め、高度な専門性と技術を身に付け、専門性の高い職種を目指す場合は、大学院(先端情報学研究科)への進学が考えられます。通常は学部4年、大学院博士前期課程2年の6年が修業年限ですが、成績優秀で諸条件を満たせば、学部を3年半で卒業し、博士前期課程を1年半で修了する早期卒業の制度もあります。1年早く技術者として社会に出てもいいですし、1年かけて海外留学するという選択肢もあります。

情報理工学部では、このような教育を通じて、高度な専門性を備えた優れたIT人材を育成し、新しい時代と社会を情報技術で支えることを目指しています。



- 経済学部 ● 外国語学部
- 経営学部 ● 文化学部
- 法学部 ● 理学部
- 現代社会学部 ● 情報理工学部
- 国際関係学部 ● 生命科学部

入学センター

〒603-8555
京都市北区上賀茂本山
TEL 075-705-1437

京都産業大学 検索

高大接続改革元年と、Society5.0へ向けて変わる大学

神戸松蔭女子学院大学 2022年の創立130年へ向けて

原点を見つめ直し、「教育」の松蔭の真価を発揮すべく、
教育改革で学生の成長を全力で応援

2021年度からの教育改革について、待田昌二学長に聞く

多様な地域連携・産学連携で、 名門女子大学に新しい風を

ファッションの街神戸を象徴するデザイン、「神戸タータン」※をモチーフに、思い思い制作した衣裳で、ファッションショーを行ったり(写真①)。神戸市立美術館との連携で、異人館や洋風厩舎で明治時代の洋菓子や、錦絵に描かれたドレスを再現して披露したり(写真②)――。

神戸松蔭女子学院大学の学生は他に、神戸市主催のイベントでのファッションショー、神戸市内の若手花卉生産者とのコラボによる「松蔭ビオラプロジェクト」、手作りの冊子「文字のお話」を灘区の小学校に配布するプロジェクトなど、大学を育ててくれた神戸市や灘区を盛り上げることを目的とした地域連携に力を入れる。

また、女子大ならではの産学連携にも力を入れる。昨年度から参画するJR西日本の「瀬戸内カレッジ」では、瀬戸内レモンをイメージして考案したJR西日本オリジナル自転車「SHIMANAMI LEMON BIKE」が好評を博している(写真③)。瀬戸内カレッジは関東・関西・中国地方の6大学の学生が、地域興しのために瀬戸内の観光スポットのアピールなど様々な提案を行うプロジェクト企画で、北陸、南九州、新潟エリアを対象としたカレッジに続く。このほか、大学グッズ制作など、教職員と連携して運営する「神戸松蔭チャレンジプログラム」にも力を入れる。

これらの取組は「アクティブ松蔭プログラム」と総称され、学内から地域へと広がっている。待田昌二学長によれば、「大学の学びが課題解決型学習やアクティブラーニングなどへ大きく転換している今、ゼミを大学の伝統的なアクティブラーニングとすれば、産学連携や地域貢献のための課題解決型授業は、今、求められるアクティブラーニングということになる。実際これらの取組は、課外活動としてだけでなく、正課に位置付ける学部・学科も多く、全体の半数以上

に当たる学生が参加するなど、「カリキュラム全体を補強し、大学全体の教育改革をリードするのに一役買って来た」という。

※ 神戸開港150年を記念して、神戸のイメージカラーを凝縮して作られた。デザイン、ロゴとも神戸タータン協議会が管理。

地域連携、産学連携を 教育改革に活かす

神戸松蔭女子学院大学は、一連の学部再編、新学部開設を終え、「教育」の松蔭の真価を発揮すべく、2021年度から教育改革を本格化させる。その方向性に大きな影響を与えているのが、上に紹介した地域連携や産学連携による学び。「中教審による『2040へ向けた高等教育のグランドデザイン(答申)』が示すように、今後は受け身の授業で知識を身につけるだけでなく、アクティブラーニングを通して主体的に考える力を養う必要があるが、そのためには、このような取組が最も効果的」と待田学長。

そこで教育改革では、導入教育・共通教育、専門教育の役割を明確化するとともに、課題解決型学習やアクティブラーニングのウエイトを高める。「あらためて大学の学びの特徴であると再確認された」(学長)ゼミについては、専門教育では、「成長の道筋を示す」ために、1年次の導入ゼミから4年次まで、課題解決型ものを増やし、学生の成長を途切れなく見守る体制を整える。共通教育でも、1、2年次から履修可能な課題解決型、学科横断型ゼミを配置するなど、「学び方を学ぶ――講義からアクティブラーニングへ」として、産学連携、地域貢献型のゼミや、ゼミに近い授業のウエイトを高める予定だ。

Society 5.0 へ対応すべく 情報教育も充実

共通教育では、文系においてもSociety5.0など、来るべき高度情報社会に対応できる数理的な能力を身につけられるよう、情報・データを充実させるのも大きな特徴だ。もともと女子大学



写真①



写真②

昨年7月14、15日「第18回みなとまつり・Kobe Love Port」がメリケンパークで開催され、人間科学部ファッション・ハウジングデザイン学科の学生が神戸をイメージした「神戸タータン」をモチーフとした衣裳でファッションショーを行いました。衣裳のデザイン・製作からショーの構成やメイク、モデルも全て33名の学生が担当しました。不安定な天候でしたが、多くの観客にお越しいただきました。



写真③

には、設立の経緯から文系の学問を中心に編成されたところが多い。しかし今後は、文系であっても、情報教育の拡充は避けて通れない。もちろんこれまでも、基礎的なITスキルの教育を行ってきたが、今回のカリキュラム改革では、国の求めるAI人材育成への対応も含め、全学生が、「情報技術を理解し、主体的に活用できるようになるとともに、社会の課題を見出して解決を提案できる」力を身につけてほしいとした。「当初は多少の抵抗はあるかもしれないが、データ理解、統計など、数学を学ぶというより、数学的な考え方を学び、理系分野に関わる実践的知識を身につけてほしい。その上で批判的視点を持ちながら客観的にデータやグラフを見る力、および、それに基づいて考え判断する力を養いたい」と学長。具体的には、実社会の具体的なデータを素材に、それを理解し、処理する力を身につける科目群を新設する。

サポート体制の充実も図る。まず各授業においては、教員に加えてSA(Student Assistant)やTA(Teaching Assistant)、情報教育センタースタッフによる学習支援を充実。建物すべてに無線LANを整備し、自由にWi-Fiが使えるなど、学内の情報環境の整備も一層進める。

“Open Yourself, Open Your Future”

一連の改革のバックボーンとするのが、2017年、学院創立125周年を記念して制定された学院・大学のモットーで、1892(明治25)年の松蔭女学校の開校の理念に基づくこの言葉だ。「各学部、学科のカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーとは別に、それにつながる全学的な意思統一を表すという。“Open Yourself”は、自らを

閉じ込めてきた殻、つまり自ら定めた限界や固定観念を打ち破り、他者に対しても心を開き、知識と技術習得にも積極的にと説く。開校当時は、女性に関しては偏った社会的風潮が強く、極めて珍しかった入学者も、知らず知らずにそういう枠を自分にはめてきたからだ。教育機関としては、それを取り払うことから始める必要があった」と学長。

一方の“Open Your Future”には、心を開いて学ぶことで、卒業時には、自ら未来を切り拓いていく力を身につけてほしいとの思いを込める。

「本学に入った学生には、《他者を受け入れ、信頼すること》《自身を枠にはめずに好奇心をもって、積極的に物事に取り組んでいくこと》から始め、4年後には《主体性を持ちながら自己の強みを活かして他者と協働できる》《多様性を尊重し、思いやりの心をもって社会に貢献できる》《生涯にわたって学び続けることができる》までに成長してもらいたい。Openに拘ったのは、本学がキリスト教宣教師によって設立されたということ、開校当初から異文化を受け入れ、何事にも心を開いて吸収していくという姿勢を貫いてきたこと、自分たちを育ててくれた神戸が、世界に開かれた街として発展してきたことによる」と学長。そして最後に、「これから社会は大きく変化していこうが、明治時代、異文化に触れ、生活が急激に変化する中で生まれ育ってきた先輩たちのことを思えば、自分たちも必ず対応できるという勇気を持つはず」と語ってくれた。

「教育」の神戸松蔭

2022年、学院創立130周年。

- 教育学科 ■ 英語学科 ■ 日本語日文化学科
- 都市生活学科 ■ 食物栄養学科
- ファッション・ハウジングデザイン学科 ■ 心理学科

† Open Yourself, Open Your Future
神戸松蔭女子学院大学

阪急六甲、JR六甲道、阪神御影各駅から市バス36系統「鶴甲団地行」乗車、六甲台南口下車、山側へ徒歩5分。
〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町1丁目2-1 <https://www.shoin.ac.jp/>

総合型選抜(AO入試)

エントリー受付中!

9/13(日) 締切

WEBオープンキャンパス開催中!

詳細は公式サイトを
ご覧ください。



シリーズ 大学が地域の核になる—京都文教大学の挑戦

産官学民！ 京都府南部地域の課題を淑徳大学の学生とともに解決！ 提言！

2020年2月17日(月)から2月21日(金)の5日間、内閣府「地方と東京圏の大学生対流促進事業」のプログラムの一環として行われた「京都府南部地域自治体・経済団体課題解決ワークショップ」。その内容と学生の発表内容についての報告です。



↑オリエンテーションの風景



↑フィールドワーク風景(茶園)



↑グループワーク風景(宇治市グループ)



↑グループワーク風景(久御山町グループ)



↑宇治市グループの発表



↑久御山町グループの発表



↑発表会場の様子



↑最後はみんなで記念撮影

京都文教大学、淑徳大学、埼玉工業大学の3大学は、2019(平成31)年3月に内閣府「地方と東京圏の大学生対流促進事業」に協働で申請し、2019(令和元)年5月に採択されました。事業期間は2022(令和4)年度までの4年間、うち補助金事業期間は2年間です。「京都府南部地域自治体・経済団体課題解決ワークショップ」は、京都府南部地域の自治体・経済団体から提供された課題に対して、フィールドワークを行い、最後の成果発表会で政策提言を行うPBL型のプログラムです。

2019年度は、宇治市産業地域振興部農林茶業課から「宇治市産の特色あるお茶づくりの効果的な普及啓発の方策の提案」、久御山町総務部行財政課から「子育て世代から高齢者まで全世代が集い活躍できるような施設の機能について提案」の2つの課題の提供を受けました。

このプログラムに参加したのは京都文教大学と淑徳大学の学生で、それぞれ「宇治市」「久御山町」の2グループに分かれ、課題に取り組みました。

期間は5日間。初日はオリエンテーションと、事前に調べた自治体情報の共有、最終日が「成果発表会」とい

うことで、実際に課題に取り組めるのはわずか3日間。この間、自治体からの概要説明もあるため、フィールドワークには限られた時間しかあてられません。「宇治市グループ」は宇治市内の茶園やお茶屋を回り、「宇治茶」の栽培、製造、販売までの歴史と伝統、文化を体験し、課題解決の方策を考えました。「久御山町グループ」は町内にある「くみやま夢タワー137」や野菜の直売所などを訪れ施設や資源を確認し、課題解決の糸口を探しました。フィールドワーク後は大学に戻り、グループごとにまとめ学習を行いました。学生が個々に見聞したことをアウトプットしてグループ内で共有し、政策の提言に向けて意見を出しあい、深夜まで議論しました。

成果発表会で「宇治市グループ」は、茶の栽培時に使用する寒冷紗の遮光効果に着目し、「日焼けをしない&暑くない」をコンセプトにした、「茶摘み体験ツアー これは参加するしかないっや!」を提案。若い世代に「日焼けをしない茶摘み」を体験してもらい、宇治市産のお茶の製造方法を知ってもらおうのが狙いです。

「久御山町グループ」は、小・中学生、高校生が協働して開催する文化祭、「くみやまフェスティバル」を提案。

久御山町の次代を担う児童・生徒に、地元の資源・魅力を知ってもらうために、「縦割り班」制度を活用して異年齢の交流を促そうというものです。「フェスティバル」のコンテンツとして、「ものづくりの苗床」をキャッチコピーとする久御山町の主要産業である農業と工業を活用し、町内で栽培した京野菜を使った料理の模擬店や、地元企業の協力を得て「ものづくり」に関する子ども向けワークショップの実施などを企画しました。

成果発表会に参加した各自治体の担当者からは、「寒冷紗を日焼け防止に使うというのは面白い視点」、「宇治市内の宇治茶の特徴を理解した上で、課題を解決するための提言ができています」(宇治市チーム)。「縦割り制度の着眼点は面白い」、「自分たちの経験も踏まえた提案内容になっていた」(久御山町チーム)などの講評を得ました。

また、参加した学生たちからは、「フィールドワークは座学では分からない部分が発見できる」、「知らない場所を訪ねたことは今後の活動に活かしていける」、「地域の人と密接に関わられて有意義だった」などの声があがり、「充実したプログラムだった」ことがうかがえました。

Book Review



『アメリカ大学編入への道』

栄 陽子 著
(三修社)

誰もが一度は憧れたことのある海外留学。その留学先として最も人気なのがアメリカ合衆国である。

私は、全国の学習塾・学校を取材して、年々、アメリカへの留学希望者が増えてきたことを実感している。一方で教育関係者の多くは、情報収集に苦慮しているのが現状である。そんな中、それら関係者の中で密かに話題なのが、今回ご紹介する書籍だ。「数多くある留学に関する書籍の中で知識ゼロでも体系的に理解しやすい」という評判。ぜひとも夏休み期間中に読みたい一押しの一冊である。

本書の著者は、日本の海外留学の先駆者ともいえる栄氏だ。日本で初めて「留学カウンセラー」を名乗り、1972年に栄陽子留学研究所を設立して以来、50年近くで6000人以上をアメリカの大学に送り出し、卒業させてきた。

本書で触られている情報は、長年の現場経験から得た賜物だ。留学生のカウ

ンセリングを軸に、その上で多くのアメリカの大学と直接入学交渉まで手掛ける著者だからこそ語れる内容といえる。

その栄氏が最近注目しているのが、アメリカの大学への編入留学(海外編入)だ。なぜ大学1年からでなく、あえて海外編入なのか。その理由は、「日本の大学を辞めて留学したい」という学生が増えていくからだという。実際、私の全国の塾取材でも「日本のトップ大学より海外で実力をつけ、卒業後、日本企業だけでなく外資系企業も視野にいれさせたいという親も増えつつある」という話を聞く。

著者によれば、実は海外編入の敷居は、一般に思われているほど高くないのだ。アメリカでは大学生の3分の1が編入を経験するといわれるほど一般的な手段で、また、海外の高い学費で悩む家庭に対しても、編入であれば在学期間を圧縮して卒業することも可能だ。

一方で、国内の教育関係者には海外大

学の入学選抜の仕組みや、費用、大学の選び方などが認知されておらず、海外編入を積極的に指導する高校や塾は少ないといえる。

ともあれ本書は、知識ゼロからでも、海外編入の仕組みからノウハウまで理解できる貴重な書籍だ。

アメリカの大学進学に少しでも興味がある高校生はもちろん、大学生、その保護者、そして教育関係者までぜひ一度手にとってほしい。

井上 孟 (いのうえ つとむ)

編集部 編集委員 海外進学担当

2012年 Hult International Business Schoolで経営学修士(MBA)修了。留学中にデータ分析の研究を始め、帰国後は自動車メーカーや飲料メーカーなどのブランド力分析を手がける。現在は、世界中のインターネットの検索データに基づいた、全国130大学のブランド力分析、大学広報のアドバイスをを行う。また、「現代ビジネス」(講談社)などにも寄稿。大手通信キャリアではメディア戦略にも携わる

2021年度入試、共通テストの受験日程を自己採点集計のスケジュールから考える

2020年6月19日、文部科学省は例年より約2週間遅れて「大学入学者選抜実施要項」を公表しました。この実施要項は通知であるため法的拘束力はありませんが、入試実施の基本原則が示されており大学は通知の内容を義務として受け止めています。実施要項では、大学入学共通テストの本試験が2回実施されることや特例追試験を含めると現役生には3回の受験日程が設定されていることが示されています。これを受けて、受験のプロと言われる方々からは、「どの日程で受験するのが最も有利になるのか」について様々な発信がなされています。共通テストの受験日程について受験生はどのように考えれば良いのでしょうか。

意志決定に本当に必要な入試日程情報は？

共通テストの受験日程を考えるため、「大学入学者選抜実施要項」で公表された入試日程と国立大学協会などから公表されている資料を合わせて、昨年度入試との日程比較表を整理しました。

2021年度入試

大学入学共通テストなどのスケジュール(2020年度入試は大学入試センター試験日程等)

【試験・成績提供等】	【2020年度入試】	【2021年度入試】
大学入学共通テスト 本試験①	1/18(土)・19(日)	1/16(土)・17(日)
大学入学共通テスト 本試験②	-	1/30(土)・31(日)
大学入学共通テスト 追・再試験	1/25(土)・26(日)	1/30(土)・31(日)
大学入学共通テスト 特例追試験	-	2/13(土)・14(日)

大学別予想ボーダーライン公開	1/22(水)	1/20(水)
----------------	---------	---------

※黄色い箇所は現段階で未公表

国公立大学 個別試験出願受付期間	1/27(月)～2/5(水)	1/25(月)～2/5(金)
------------------	----------------	----------------

特例追試験受験者 国公立大学 個別試験出願受付期間	-	2/15(月)～2/18(木)
------------------------------	---	-----------------

私立大学 一般選抜	2/1(土)～※	2/1(月)～※
-----------	----------	----------

※一部私立大学は1月中旬～実施

(大学入試センターから各大学への成績提供)

共通テスト成績提供(私立大学対象)	2/4(火)～	2/8(月)～
-------------------	---------	---------

共通テスト成績提供 (国公立大学推薦型・総合型対象)	2/5(水)～	2/8(月)～
-------------------------------	---------	---------

共通テスト成績提供(国公立大学対象)	2/6(木)～	2/8(月)～
--------------------	---------	---------

特例追試験受験者 共通テスト成績提供	-	2/18(木)～
--------------------	---	----------

国公立大学 共通テストを課す推薦等合格発表	～2/12(水)	～2/16(火)
--------------------------	----------	----------

国公立大学 前期日程第1段階選抜結果発表	～2/12(水)	～2/16(火)
-------------------------	----------	----------

特例追試験受験者 国公立大学 共通テストを課す推薦等合格発表	-	～2/22(月)
-----------------------------------	---	----------

特例追試験受験者 国公立大学 前期日程第1段階選抜結果発表	-	～2/22(月)
----------------------------------	---	----------

国公立大学 前期日程	2/25(火)～	2/25(木)～
------------	----------	----------

公立大学 中期日程	3/8(日)～	3/8(月)～
-----------	---------	---------

国公立大学 後期日程	3/12(木)～	3/12(金)～
------------	----------	----------

国立大学 前期日程・後期日程 追試験	-	3/22(月)～
--------------------	---	----------

※公立大学個別試験の追試験は現段階で未公表

周知の通り今年の共通テストの本試験は2週間の間隔を空けて2回実施されます。高卒生は①1月16日(土)、17日(日)「第1日程」のみの受験となりますが、現役生は追・再試験用の問題を使用する②1月30日(土)、31日(日)「第2日程」の選択もできます。追・再試験の方が問題が難しいという説もありますが、大学入試センターは、例年、本試験と追・再試験の問題難易度は等しいと説明しています。実際に本試験と追試験の問題難度を検証するために、難関国立大学の学生モニターに両方の試験を受けてもらい、問題難度の検証を行っていることは入試に携わる者の中ではよく知られた事実です。ただ、テスト理論の観点からは平均点が同じでも分散が異なれば必ずしも均質とは言えないという見解もありますので、完全に同じとは言えないところもあります。

どちらの日程で受験するのが有利なのかについて、各メディアでは受験のプロとされている方々がコメントをしています。それらを見ると第1日程を推す意見が多く見られます。ただ、第2日程を推す意見も見られ、その主な理由は、初めて行われる大学入学共通テストの出題傾向を見極めてから、2週間かけて準備をした方が得点を取りやす

いという内容です。確かに文系生にとっての数学、理科、理系生にとっての地歴公民(生徒によっては国語も)については的を射ていると言えるでしょう。

そのため、共通テストの配点が高く、個別試験の科目数が少ない地方国立大学を目標としている受験生にとっては第2日程の方が有利にも見えます。ただし、難関国立大学を目標としている受験生は、第2日程で共通テストを受験して仮に高得点が得られても、ここで個別試験対策が2週間も遅れる方がデメリットになるでしょう。このようにどちらの日程を選んでもメリットとデメリットがありますが、意志決定のためには、国公立大学の出願期間と民間事業者による共通テストの自己採点集計スケジュールをよく考える必要があります。

例年の自己採点集計では予想ボーダーラインは本試験の3日後に公開される

国立大学協会が7月13日に公表した変更後の個別試験の出願期間は、1月25日(月)から2月5日(金)となっています。共通テストの「第2日程」の設定を受けて出願期間が2日間延長されました。せめて2月8日(月)まで延長して欲しいところですが、個別試験の実施準備などを大学の立場で考えるとやむを得ないと言えます。「第2日程」受験者は共通テストを受験してから出願締め切りまで、5日間の検討期間が取れることになりましたが、自己採点の結果によって出願校を変更する場合などには本当はもう少し時間が必要です。

なお、共通テストの特例追試験受験者は、2月13日(土)、14日(日)の受験後に、出願期間が設けられることになり、2月15日(月)から2月18日(木)となっています。各大学の志願倍率などがある程度判明した後の出願ですので、高倍率の大学を避けることができ、この点では有利です。ただ、試験を受ける前に共通テストの自己採点集計分析による各大学の予想ボーダーラインがすでに公表されている可能性が高いため、受験生は目標が立てやすいとは言え、プレッシャーも大きいでしょう。

その自己採点集計スケジュールですが、例年では本試験翌日の月曜日から集計が始まります。そして、その集計データを基にした各大学の予想ボーダーラインが公表されるのは、本試験から3日後の水曜日です。今年は本試験が2回実施されるため、自己採点集計スケジュールがどうなるか気になるところです。

自己採点集計は「第1日程」で実施され、「第2日程」では実施されない？

現在、全国的な規模で行われる共通テストの自己採点集計は2つしかありません。河合塾によるセンターリサーチとベネッセコーポレーションによるデータネットです(データネットは駿台予備学校と共催)。現段階では両者とも自己採点集計のスケジュールを発表していませんが、自己採点集計は「第1日程」後に実施して、「第2日程」後の自己採点集計は行われなと思われる。それは大半の受験生は「第1日程」を選択すると予想されるためです。

6月に公表された文部科学省の調査では、約70%の高校が当初予定されていた通りの日程で入試実施を希望していました。つまり70%以上の受験生は「第1日程」で受験し、「第2日程」で受験する受験生は約30%と考えることができます。この比率をそのまま当てはめると「第2日程」の受験者数は約15万人と見込まれますが、実際にはもっと少なくなるでしょう。難関大志望者には前述のようなデメリットもあり、また、多くの受験生にとっても予想ボーダーラインが公表された後の受験となることは、かえってプレッシャーとなることも考えられます。

加えて、私大入試直前の時期にもあたります。文部科学省は、受験生に対してどちらの日程で受験するのか、希望者数を7月1日から調査しています。そのため、7月中には大勢が判明しますが、大半の受験生は「第1日程」を選択すると予想されることから、共通テストの自己採点集計も「第1日程」後の1回の実施となりそうです。こうした自己採点集計のスケジュールから見ても「第1日程」受験の方が良さそうです。

「第2日程」の受験者が特例追試験を受験すると私立大共通テスト方式は合否判定の対象外？

ところで、「第2日程」での受験を予定していて、何らかの理由で追試験を受験することになった場合には、特例追試験(2月13日、14日)を受験することになります。しかし、私立大の共通テストを利用した入試方式の多くは、例年2月10日(水)前後に合格発表が行われます。今年の場合は、「第2日程」が設定されたため、大学入試センターから各大学への共通テストの成績提供が当初予定の2月2日(火)よりも遅れて、2月8日(月)以降となりました。そのため、私立大の共通テスト利用方式の合格発表も数日遅れる見込みですが、特例追試験を受験した受験生の成績が大学入試センターから各大学へ提供される2月18日(木)よりも前に合格発表になると予想されます。その場合、仮に受験生が私立大の共通テスト利用方式に出願していても、合否判定の際には共通テストの成績が存在しないため、合否判定の対象にはできません。

こうした事例の対象者は少ないと考えられますが、果たして救済されるのでしょうか。文科省の実施要項では、特例追試験の受験者が「共通テストを利用する選抜に出願でき

よう配慮する」と記されていますが、対応は各大学に任せられます。私立大の共通テスト利用方式の出願は、共通テスト前日に締め切られるパターンが多いため、出願は担保されますが、合否判定については現段階では不透明です。こうして考えていくと共通テストの受験は「第1日程」を選択することがリスクを最小化することになると言えます。受験のプロの方々が「第1日程」受験を推すのはこのような理由もあるのです。

ところで、特例追試験の問題は、従来のセンター試験の緊急対応の問題である通称「第3セット」がベースになります。つまり、共通テストで予想されている新傾向の問題ではなく、従来型の問題です。そのため、共通テストよりも高得点が望めそうなのですが、そのほかのリスクを考えると意図的に特例追試験の受験を目指すことはとてもお勧めできません。 神戸 悟(教育ジャーナリスト)

■ 埼玉工業大学 全学部全学科でAI関連教育を開始



埼玉工業大学は、全学的に AI 人材育成に取り組むため、工学部（機械工学科、生命環境化学科、情報システム学科）と人間社会学部（情報社会学科、心理学科）の全学部全学科（2学部5学科）において、人工知能関連の共通基礎教育を開始した。

埼玉工業大学では、2020年度、AI教育の全学部全学科（2学部5学科）への展開にあたり、各学科のカリキュラムを刷新。ICT概論、ICTリテラシー、人工知能入門などを実施している。これにより、初年次からAI関連の基礎教育を全学生が学べるようになった。2020年6月現在、新型コロナの感染予防による遠隔授業を実施中だが、AI関連の講座もオンライン授業で実施している。

埼玉工業大学は工業系大学として、政府の「AIを各専門分野で応用できる人材を2025年に年間25万人育成する」との戦略に対応し、2019年4月には全国に先駆け、国内初となるAI専攻を工学部情報システム学科に新設。2020年4月には、機械工学科にIoT・スマートファクトリーに対応したロボット・スマート機械専攻を設置した。また、全学の基礎教育でコンピュータ利用、ICTリテラシー教育などを含めたSTEAM教育を行ない、各学科の専門科目でも、CAE、分析、ネットワーク、データ活用、データサイエンスなどに長年にわたり取り組んでいる。これらの経験と、すでに整備していたAI関連の教育・研究体制および実験施設などのインフラを組み合わせることで、今回、スムーズに全学でのAI教育を開始できた。

AI関連知識を活用する場面は、工学部機械工学科では、AI関連の知識を利用した故障診断技術、人間社会学部情報社会学科では、AIによる意思決定支援など、各学科や卒業研究等のテーマ選択によっても変わり、最近では、卒業研究においても、AI関連のテーマに取り組む学生が増えつつある。また、就職・採用においても、企業からの採用要件にAI関連の知識を習得している学生を求めるケースが増え、産業界からの採用ニーズにも対応すべく、全学的にAI人材の育成を強化していく。

■ 就活開始に向け、692名の3年生全員にオンラインで個人面談 麗澤大学



麗澤大学は、就職活動を開始する時期にある3年生692名全員を対象にオンラインで「全員面談」を実施している。

麗澤大学キャリアセンターは2017年から3年生に対して「全局面談」を行っている。期初のガイダンスにおいて一律に就職指導を行ったうえで、一人ひとりと面談。就職活動に対して抱える不安を払拭し、就職活動の早期スタートのきっかけを提供するとともに、一人ひとりの進路の方向性や人柄を把握し、手厚くサポートしている。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、期初のガイダンスは中止。対面式の面談をZoomによる「オンライン全局面談」へ切りかえ、不安を抱える学生に個別に対応する。7/9までに308名が予約を終え、うち263名はすでに面談を終えている。

面談を終えた学生からは「コロナで就職活動がどうなるか不安だったが安心できた」「就職活動なんてまだ先だと思っていたけど、早めに活動しないといけないと思った。早速インターンシップに参加したい」などの声が寄せられている。

麗澤大学では、この「オンライン全局面談」を通じて、学生たちに、就活環境が不透明な中、就職活動の準備を早めに開始することを期待している。また、キャンパス内への立ち入り禁止が解除された暁には、より手厚く学生の就職支援を行うため「対面での面談」「WEBでの面談」を上手く掛け合わせた「ハイブリッド運営」などの実施も考えているという。

■ 実践女子大学、10月実施の「総合型選抜」I期試験をオンライン化

実践女子大学と実践女子大学短期大学部は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、2021年度入学者選抜の「総合型選抜」のオンライン化を決定した。年3回実施予定の総合型選抜のうち、10月に試験を行うI期選抜をオンラインで実施し、受験生が大学に来なくても面接や模擬授業を自宅で受験できるようにする。



総合型選抜（旧AO入試）は、受験生の人物像を大学側が求める学生像と照らして選抜する入学者選抜方式。面接や書類選考などを行い、学力試験だけでは測れない受験者の個性や熱意も評価して合否を決める。2021年度入学者選抜において、実践女子大学は3学部9学科すべて、短期大学部も2学科すべてで総合型選抜を実施する。

日程は、10月のI期選抜、12月のII期選抜、来年1月のIII期選抜に分けて3回キャンパスで試験を行う予定だったが、交通機関や会場内での感染リスクに配慮し、I期選抜についてはオンラインで実施する。対象となるのは、大学の3学部9学科、短期大学部の2学科のすべての面接と、文学部美学美術史学科、生活科学部生活環境学科、人間社会学部の模擬授業。

2021年度の総合型選抜による募集定員は、大学で74人、短期大学部で30人を予定。このうち、I期選抜の募集定員は大学で54人（短期大学部はI～III期の区分はなく総計）。出願書類は、7月1日から同大学のWebサイトでダウンロードできる。また、II期やIII期、2022年度入学試験での総合型選抜の扱いは現時点では未定。コロナ禍の拡大状況などを考慮しながら今後、判断する。

■ 麻布大学、独自の緊急特別奨学金など経済支援策の第2弾発表

麻布大学は、新型コロナウイルス感染症に伴う全学生向けの経済支援策として、学業に必要な資金援助の制度を強化する。



麻布大学は2020年4月30日から9月22日まで、前期全ての授業を遠隔で行う方針を全学的に決定している。それに伴い、オンライン環境整備の支援策としてノートパソコン及びポケットWi-Fiの無償貸与や、学生1人あたり一律2万円の「学習環境補助（奨学費）」の支給（7月）など学生の学習および経済支援に取り組んできた。

今回、学生支援の第2弾として、新たに3種類の支援を実施する。1つ目は学びの継続のための「学生支援緊急給付金（給付）」。文部科学省の学生支援緊急給付事業に対応し、修学及び学生生活の継続に経済的に支障をきたす学生を対象に緊急で現金給付の支援を行う。給付額は、住民税非課税世帯の学生が20万円、それ以外の学生は10万円。

2つ目は大学独自の奨学金「令和2（2020）年度麻布大学緊急特別奨学金（貸与）」で、新型コロナウイルス感染症の影響によって経済的事情で生活が困難となった学生（学部生および大学院生）に対して、特別に貸与する。20万円貸与（先着順30人まで）と5万円貸与（先着順100人まで）の2種類を用意し、選考を経た上で決定する。奨学金の返還は、貸与額20万円の場合、卒業又は修了後5年以内、貸与額5万円の場合、卒業又は修了後2年以内を返還期限とする。

3つ目は「麻布大学同窓会による学生支援奨学金（給付・貸与）」。麻布大学同窓会から、全学生（同窓会準会員2,572人）に一律1万円を7月に支給する。また、全学生向け「少額奨学金」を新設し、使用用途を設けず、上限10万円を貸与する。

日本の大学・教育関連専門のニュースサイト

大学ジャーナル
UNIVERSITY JOURNAL
ONLINE

その他の詳しい大学関連ニュースは

大学ジャーナルオンライン

SEARCH

@univjournal

大学ジャーナルオンライン

16歳から
の
大学論

第23回

学問の考え

京都大学
学際融合教育研究推進センター
准教授 **宮野 公樹**先生

Profile

1973年石川県生まれ。2010～14年に文部科学省研究振興局学術調査官も兼任。2011～2014年総長学事補佐。専門は学問論、大学論、政策科学。南部陽一郎研究奨励賞、日本金属学会論文賞他。著書に「研究を深める5つの問い」講談社など。

今回はコロナ禍における大学の意味の再確認として2つあげました。一つは、様々なことに対応する博物学的な役割。これは単にリスクヘッジという意味合いだけでなく、人間の興味関心に限りがないのと同じように大学の守備範囲も相当広いのだという話。もう一つは、精神的支柱の役割。世間ではよく大学の研究は実質的に役に立つか／立たないかが議論されつつも、この間、著名な哲学者、歴史学者の意見がWEBや誌面で目立ったように、なんだかんだいって世間は、日常をメタな視点で原理から見つめなおすことを「学問」に求めているのだという話です。いずれも社会からみた学問の役割ですが、今回は、逆に「学問の側」からこのパンデミックという事態がどう映るのかについて話してみます。

冷淡すぎると思いつつもあっさりと言いますが、この事態がどう映るも何も、こういうことも起こりうる、の一言です。これは、長い歴史を見ればスペイン風邪のような事実もあった、という実経験の紹介を意味するものではありません。世界的パンデミックに限ったことではな

く、有史以来、人間が未来を「読めた」ことなど一度たりともありません。なぜだかわかりませんが一方向にしか流れないこの時間なるものにおいて、未来予測など原理的には不可能です。そして、そのような原理に抗ってきたのが「科学技術」というなら、勝敗は最初から決まっています。明日も今日と同じように続く我慢心、変動的な地形に固定的な暮らしを作ってきた我々に対し、幾度となく自然は再認識の機会を与えてきました。それをしかと受け止め、「日常」というものが正しく疑われた精神にとっては、その「日常」こそが最も驚くべきこととなります。これは「当たり前の日常に感謝せよ」という価値観の話ではなく、そもそも日常というものが存在することへの根源的な驚きのことについて言っているのです。なぜ「在る」のか…今自分が存在すること、それ以上に驚くことがあるでしょうか。明日、宇宙人が地球に攻めてきたとしても、学問(の精神)にとってはなんでもないことです。宇宙はこんなに広いのです。我々人間が有する知見など塵に等しく、自分が存在することを含め、全くわか

らないことばかりなのですから。

無知の知、不可知への構えが「学問」にはかなりません。

どのような学術分野であれ、学問としてそれがたどり着くのは意味や価値を超えたところの絶対的な生の形式。それを眺みつつ「今、ここ、私」を生きるということは、正しく絶望し正しく自由であることに他なりません。ゆえに未来などは全く不安ではないのです。不安を持ちようがないのです。荻生徂徠、ソクラテスが言うように、何があるがすべては人間がすることであり、もしくはパルメニデスの言うとおり、これまでなるようにしかならず、ならないようになったことはたったの一度もないのですから。偉人たちの言を借りて言わんとしたこの存在(=人生)に対する構えは、楽観でもなければ、達観でもなく、単なる事実であり、人間の全歴史に対する誠実な姿勢なのです。

ポスト、アフター、ウィズなどなど、世間では、そして知識人たちが躍起になって「明日」を探し、語っています。しかし、「学問」とはそれらを静観するものです。動的平衡が本然であるこ

の世において、「変わる」ということが常だからです。むしろ「変わる」ことによる「変わらないこと」にこそ目を向け耳を傾けるのが「学問」の仕事(本分)と言えます。だからこそ、前回述べたように、世間は「学問」を頼ったのでした。その信頼に応えるよう、学問は学問で在り続けなければいけません、その努力を怠ってはいけません。もちろん「今後は価値が二極化するだろう」、「仕事観が変わりいっそう量から質へと転換するだろう」といった各専門家(研究者)の意見は重要とは思いつつも、すなわち、それは本当の意味で世間が、学問を担う大学に求めていることではなかったはずだと思う次第です。

TVやタイムリーをウリにするWebサイト記事に学者の言葉は登場しにくいとは思いますが、やはり、世間すなわち社会が本当のところ求めている(であろうと信じる)言葉を読んでもみたくて、非力をさらすこと覚悟で自分で書いてみたというのが本原稿の位置づけです。(つづく)

雑賀恵子の 書評

雑賀 恵子

京都薬科大学を経て、京都大学文学部卒業、京都大学大学院農学研究科博士課程修了。大阪産業大学他非常勤講師。著書に「空腹について」(青土社)、「エコ・ロコス 存在と食について」(人文書院)、「快楽の効用」(ちくま新書)。大阪教育大学附属高等学校天王寺学舎出身。



心にとって時間とは何か

青山拓央
講談社現代新書
2019年

「時間とは何か」なら、まだわかる。物理学や量子力学の難解な議論の本かしらと想像するかもしれない。だが、本書は「心にとって時間とは何か」だ。心にとって、ということは、時間というのは何かの心象ということをも含むのだろうか。

確かに、子供の時は長いと思えた一日も大人になるにつれ経つのが短く感じられるとか、何年も前のある出来事が「昨日のここのように」感じられるとか、そういうことを考えれば、なるほど、時間とは、心、認識の問題かもしれないと思

てくるのではないだろうか。タイトルにそんな疑問を持つ人にこそ、読んでいただきたい。

実は、時間についての考察は、アリストテレスも、中世のアウグスティヌスなども取り上げた、随分古くからの哲学のテーマだ。そして、本書で挙げられている時間をめぐる問題群及びそこから展開される問題群もまた、身近であり、それだから多くの人が論じてきたものである。決して目新しいものではない。

本書は、心と時間をめぐる議論をいく筋かの道に分けて、脳科学や心理学や倫理学や、そのほかさまざまな分野における従来の知見を紹介し、そしてその道から導き出される人間生活における心と時間の問題を、別の道筋として示し考察していく。

そのために章立てには趣向が凝らされ、入念に道が配置されている。第一章には「知覚」(時間の流れは錯覚か)、第三章「記憶」、第五章「SF」(タイムトラベルは不可能か)、第七章「因果」と、奇数章には心と時間をめぐる議

論の道が敷設される。偶数章には「自由」「自殺」「責任」「不死」と人間生活のテーマを置き、その前の奇数章を踏まえながら時間概念とどう関わるかが語られる。さらに、第一章「知覚」と第五章「SF」、第二章「自由」と第六章「責任」、第三章「記憶」と第七章「因果」、第四章「自殺」と第八章「不死」が立体交差するように対応しているのだ。読み手は、それぞれの道を辿りながら、そこにある風景、つまりは紹介される知見を愉しむが、どこかに行き着くことはない。

著者とともによく筋の道を彷徨いながら浮かび上がってくるのは、時間というものをめぐる謎だ。つまり、本書は、踏み分けられた道を示すことにより、踏まれたことのない未知の領域を指し示しているのである。著者なりの解答ないしは結論を性急に求めるような、クイズ好きの人には向かない本と言ってもいい。

そうではなく、著者ととも巡った思考の旅から帰還することないまま、自分なりの新たな道を探しに行きたくなるような本なのだ。

法政大学の一般選抜の入試制度を紹介します

法政大学では、受験生の皆さんが十分に力を発揮できる入試制度を用意しています。

2科目で受験ができる

T日程入試(統一日程)

1科目で受験ができる

英語外部試験利用入試

主に3科目で受験ができる

A方式入試(個別日程)

私立大学型で得意な科目で受験できる

大学入学共通テスト利用入試B方式(3教科型)

国公立大学併願型で費用負担が少ない

大学入学共通テスト利用入試C方式(5教科6科目型)



各制度の詳細を動画でもご紹介



お問い合わせ 法政大学入学センター



〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1
TEL 03-3264-9300(直通)

法政 入試

検索

デキル!学部 立正大学データサイエンス学部(仮称:2021年4月設置予定認可申請中)

データサイエンスで、150年の歴史に新しい1ページを

文理融合で「現場で活躍できるデータサイエンティスト」を育成

『「モラリスト×エキスパート」を育む。』を教育ビジョンに、2022年に開校150周年を迎える立正大学。その記念すべき年に一年先駆けて設置を予定しているのがデータサイエンス学部(仮称)。大量に収集したデータを、進化した情報技術によって様々な角度から分析、社会の諸課題の解決に役立てようという情報科学の新しい枠組みに特化した学部で、政府のSociety 5.0構想や、『AI戦略2019』の掲げる教育改革とも歩調を合わせる。新学部について、学部長予定者の北村行伸先生に、設置の背景、目指すところ、求める人材像などに加えて、新学部開設にかける意気込みについても語っていただいた。

学部長就任予定者
経済学部教授
北村 行伸 先生



Profile

慶應義塾大学経済学部卒業。オックスフォード大学大学院修了(D.Phil. in Economics)。オックスフォード大学研究助手、慶應義塾大学大学院客員助教授、一橋大学経済研究所教授・所長等を経て、2020年4月より立正大学経済学部教授。一橋大学名誉教授、総務省統計委員会委員長、日本学術会議第1部会員、日本銀行金融研究所研究員、財務省財務総合政策研究所特別研究官などを兼務。県立千葉高校出身。



国の教育改革を先取り

新学部の開設構想を聞かされ、参画を打診されたのは約1年前。日本の高等教育はデータサイエンス分野において欧米に遅れをとっていて、何とかしなければならないと常々思っていたため、共鳴するところも多く、快諾させていただきました。そこから教員募集、カリキュラム作成まですべてに情熱を傾けて取り組んでまいりました。

学長の吉川洋先生※1とは、政府や日銀の研究会等でご一緒させていただき、気心も知れていたのがご縁の始まりです。吉川先生は、政府の統計に関わってこられた経験から、日本は統計部門が弱いことをかねがね指摘されていて、データというエビデンスによる政策立案の必要性を訴えてこられました。

この間、世界のビジネスは、GAFに象徴されるデータプラットフォームが、インターネット上で情報を集め主導権を握りつつあり、日本もそれについて行かざるをえない状況になっています。たしかに日本はこれまで、たくさんのデータを保有しながら、国も企業もその価値に気づかず使えてこなかった。しかしこのあたりで頭を切り替え、それらの有効活用を図ることが急務となっています。そこからは新しい価値が生まれる可能性があり、日本独自の強みを発揮できるかもしれないからです。吉川学長の言葉を借りれば「価値創造」ということとなりますが、新学部としてもその一端を担いたいと考えています。またそのための人材養成については、政府主導により大学全体で始まろうとしているデータサイエンス教

育※2に加え、学部で集中して育てることにチャレンジしたい。学園としても、今の時代に新学部を作るとしたらデータサイエンス教育に特化した学部が最適ということで開設が構想されました。

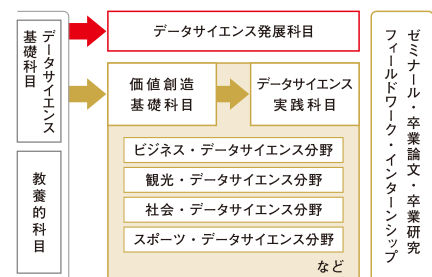
※1 2019年から第34代学長。経済学者、東京大学名誉教授。
※2 『AI戦略2019』の掲げる教育改革では、「文理を問わず、全ての大学・高専生(約50万人卒/年)が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得」とある

文理融合で社会課題を解決。幅広い分野の実践的専門科目が特徴

ではどんな特長を打ち出すのか。日本でもここ1、2年で、従来の情報系学部ではなく、データサイエンスをキーワードに、まとまった教育・研究組織を作る動きが始まりました。すでに国、公、私立それぞれ1校が立ち上がっていて、私たちがおそらく国内で4番目。私立大学としては2番目になります。

ただ、先行する各大学がいずれも理系(自然科学系)からのアプローチが中心なのに対して、本学は文系(人文・社会科学系)からのアプローチも可能とし、学際領域、応用に近い分野に軸足を置き、社会での活用をより意識した《キャリアにつながるデータサイエンス》が学べることを特長とします。定員も240名と多く、これまでの本学の学生のプロフィールから、データサイエンスを身につけ社会を中堅で支える人材育成をイメージし、理系だけでなく、文系の学生も受け入れることにしました。

専門科目は数学、プログラミング、アルゴリズム、インターネットの仕組みなどを学ぶ「データサイエンス基礎科目」と「データサイエンス発展科目」で、後者は《ビジネス》《観光》《社会》《スポーツ》をはじめとした様々な分野(写真)を対象とした「価値創造基礎科目」と「データサイエンス実践科目」からなります[図1]。情報学を究めることももちろんできますが、データサイエンスの専門家を目指すわけではないという学生には、自分の興味のある



※予定であり内容は変更の可能性あります。

図1

データサイエンス×価値創造の分野例



ものづくりの現場や市場、流通などの過程で収集されるビッグデータの分析から、新しい視点での問題解決やこれまでないビジネスモデルを創出する。



携帯電話の位置情報や購買記録、SNSの投稿など、旅行者の提供する膨大な情報を分析し、観光産業を牽引。新たな観光スポットやニーズを開拓し、新しい観光産業の発展や地域の活性化につなげる。



気象や地理に関するデータや国の統計データをはじめ、各種データを活用し、環境、経済、医療、教育、交通など、社会の様々な課題解決を図るとともに、インフラや防災計画等、公共政策の充実に貢献する。



AI・IoTなどの最先端技術で選手の動きやコンディション、チーム状況に関するデータを解析・活用し、プレーの質向上やまったく新しい戦術の開発など、スポーツ界をデータサイエンスでさらに発展させる。

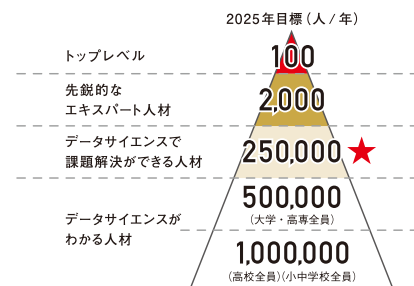


図2

るテーマ、目指す進路、解決したい課題にあわせて、データサイエンスを活用して、「価値創造」にチャレンジしてもらいます。

もちろんデータサイエンスは社会のすべての分野とかかわりますから、卒業後の進路はあらゆる分野、職種が対象となります。目指すのは、現場に近い、現場で役立つ、それぞれの職場で必要なプログラム、オンライン環境をサポートできる、まさに《現場で活躍するデータサイエンティスト》。図2でいえば★印の、「データサイエンスで課題解決ができる人材」に位置付けられる、今後最も不足すると考えられる層です。

教員も、総務省統計局、内閣府、日本銀行などの中央官庁・中央銀行OBや、シンクタンク、各分野のビジネス経験者などを新たに加え、元々の各分野の専門家とともに、データサイエンス以外の実務家も充実させます。

立正大学に新しい風を。大学としてアフターフォローにも力を入れたい

これは私の個人的な意見ですが、学部教育では教育が重要だとされますが、よく背中

践力を高めることも極めて重要です。研究室に閉じこもって地道に研究を深め、コツコツ教育するだけでなく、研究成果を社会にアピールしたり、ビジネスを立ち上げるなどして、積極的に社会への情報発信に努めてほしい。教員の社会的な認知が高まれば、学生のモチベーションも高まりやすく、結果的にそれが教育の質を高めるのだと思います。

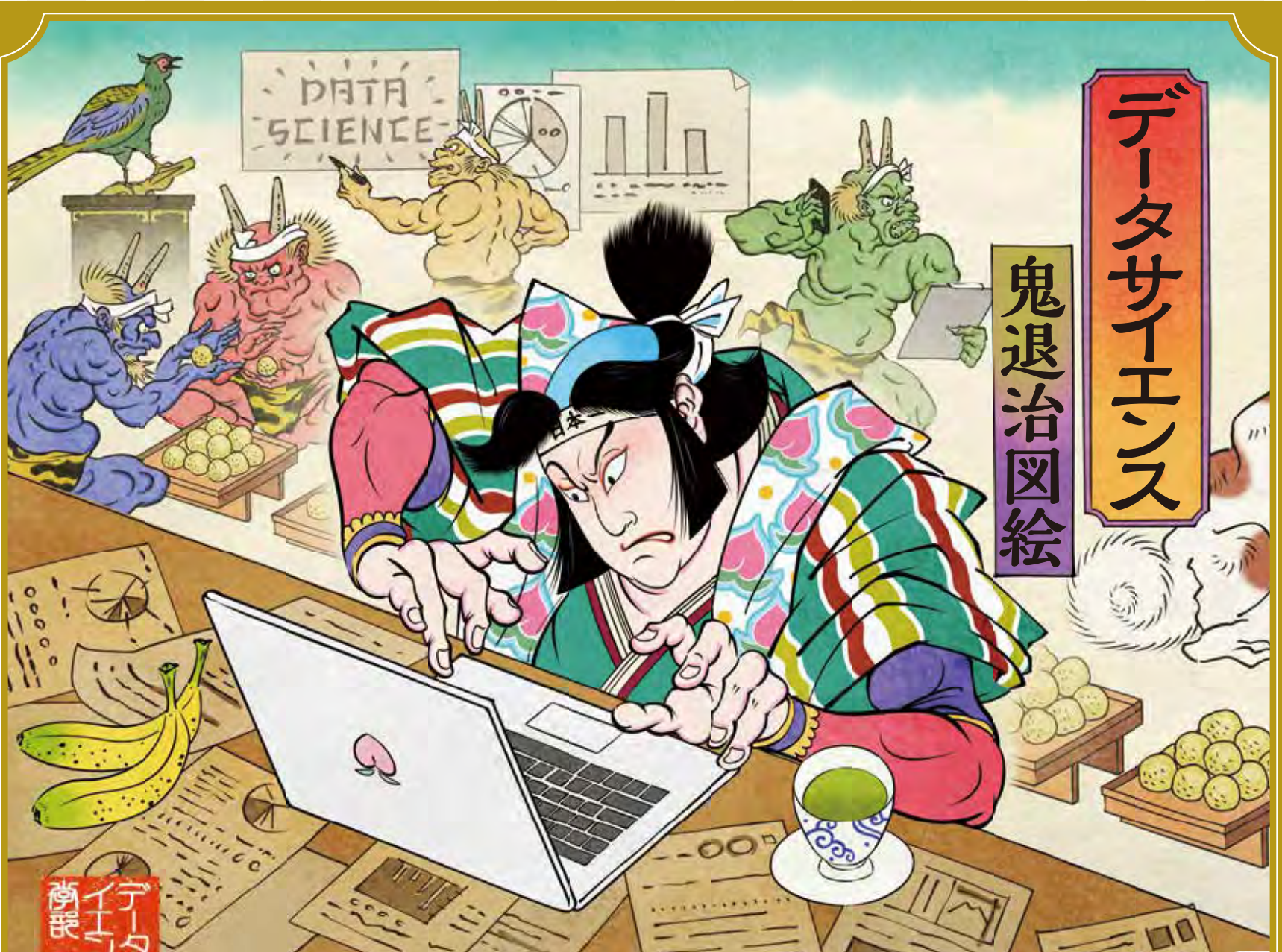
本学は、150年の伝統を持つ数少ない大学で、学生もまじめです。しかしこれから新学部が育成するのは、デジタル社会の最前線で活躍する人材ですから、多少型破りであっても粗削りであってもいいと思います。卒業後は、企業家を目指したり、新しいビジネスを立ち上げたり、あるいは転職を恐れず、新興の中堅・中小企業へも積極的に飛び込んでいくなど、失敗を恐れず何事にもチャレンジしてほしい。

大学もそのためのバックアップを惜しみません。新学部は熊谷キャンパスに開設されますが、都心の品川キャンパスには来春、国の求める全学的なデータサイエンス教育をサポートしながら、全学的にデータサイエンス研究を推進するためのデータサイエンスセンター(仮称)を設置予定です。技術の進歩は早いからです。卒業した後も大学に戻り、新しい情報、知識を得、新しい技術についても学び直したり、実務の現場でいかすことのできる仕組みも作りたと思っています。

2020年の本学キャッチフレーズは「変化→自信→成長できる大学」。変化が全ての始まりであるとしていますが、デジタル社会を先導する人材を育成する新学部には、立正大学全体に変化を引き起こす役割もあると思っています。

文理融合学部が求める高校生像

現在、国が多くの大学で広く展開しようとしているAIリテラシー教育※2に比べ、新学部のカリキュラムは質量ともはるかに充実しています。高校時代に、数学や情報学などに親しんできてもらえればいいことはありませんが、専門学部の強みを活かして、数学や情報学未履修者に対しても1、2年の間に統計、確率論、プログラミングなどについて手厚い教育を用意しています。また興味関心のあるテーマについて実践的に学びますから、「ひたすら学ばなければならない」という状況とは異なり、はるかにモチベーションを維持、持続できると思います。よく言われるように、プログラマーには興味とセンスが必要です。理系か文系かはあまり関係ないというのと同じです。本学の入試制度も、元々全学部共通での一般選抜を設けているので、理系・文系問わずチャレンジ頂けると考えています。



データサイエンス

鬼退治図絵

データサイエンス学部

悪い鬼を退治するために、
桃太郎はきびだんごを
大ヒットさせました。

もしも桃太郎がデータサイエンスを心得ていたら、

おばあさんがくれたきびだんごで

ビッグビジネスを生み出し、

鬼ヶ島を丸ごと買収して鬼を全員部下に!?

なんてことになったかもしれません。

データの分析力と

常識にとらわれない発想で、

世の中の課題を解決したり、

いままでにない価値を生み出すこと。

これからの未来に大きく関わり、

世界も注目する学問。

データサイエンス学部*、はじまります。

※仮称。2021年4月設置予定 認可申請中。

データサイエンス学部 熊谷キャンパス 定員240名

(仮称・2021年4月設置予定 認可申請中)

立正大学のデータサイエンス学部では、数学の得意・不得意にかかわらず、データサイエンスのチカラをしっかりと身に付けられるカリキュラムを用意しています。データの分析手法を修得する科目に加え、幅広いフィールドについて学べるよう、ビジネス、観光、社会、スポーツなど様々な分野の実践的科目を設置予定。興味がある分野の未来を担う、唯一無二の人材を目指しませんか?



デバイスによっては読み取れない可能性があります。

オープンキャンパス情報〈入退場自由〉

8/10 mon	8/16 sun	8/22 sat	8/23 sun	QRコード	9/27 sun	10/25 sun	10/31 sat
WEBオープンキャンパスサイト 公開中→					品川・熊谷	品川	熊谷
					10:30-14:30	10:30-14:30	10:00-16:00

※上記イベント・日程は予定であり、状況によっては変更となる場合があります。また、日程により内容が異なります。詳細はホームページを確認してください。